

- ◇確かな学力を身に付け、生徒の志望を達成させる
- ◇社会人として自立できる人間づくり
- ◇生徒 保護者 地域から信頼され、選ばれる学校づくり



登米高通信

《目指す生徒像》 = 将来にわたって活躍できる土台を備え、地域を支える人材の育成



校訓 誠実 勤勉 進取

令和2年4月号
4月24日発行

ブログ等でも随時情報を発信しております。ホームページもぜひご覧ください。 <https://tome-h.myswan.ed.jp/>

登高生としての生活スタート

令和2年度入学式を校内放送で実施

4月8日(水)に第75回入学式が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため式を大幅に簡素化し、校内放送による実施となりました。急遽、保護者の方々の参加も見合わせるようになってしまいましたが、多くの保護者の皆様から御理解をいただき、大きな混乱もなく無事実施することができました。

式では放送により 佐々木真由美 校長から109名の入学が許可された後、自分の可能性を信じて充実した高校生活を送ってほしいと式辞がありました。

参加できなかった保護者の皆様のために、式辞全文を掲載いたしますので、ご一読ください。



放送室で式辞を読み上げる 佐々木真由美 校長

式後のホームルームでは、それぞれのクラス担任から新生活へ向けてのメッセージがあり、新入生たちは心を新たに登高生活をスタートさせました。翌日から再び臨時休業となり、しばらくは家庭で自学自習の生活となりましたが、この日からは登高生としての自覚をもって生活してくれることを願います。



入学式後のホームルームの様子

- (左上) 1年1組 担任 大野淑美 先生
- (右上) 1年2組 担任 鈴木郁恵 先生
- (左下) 1年3組 担任 大竹史人 先生

《入学式 校長式辞 全文》

暖かな日差しが桜の開花を強く誘い、歴史と文化薫る美しいこの町が春色に包まれています。

今日の佳き日、ここに令和2年度宮城県登米高等学校の入学式を挙げていきます。心からうれしく思います。

只今、入学を許可いたしました109名の新入生の皆さん、そして、コロナウイルス感染拡大防止対策としてこの場にご出席はいただけませんが、この日を心待ちにしていたいただいた保護者の皆様方、ご入学おめでとうございます。在校生、教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

皆さんが入学を果たした、宮城県登米高等学校は、大正九年に宮城県登米町立実科高等女学校として設立され、以来、諸先輩方の崇高な精神と弛まぬ努力によって時代の様々な変遷に耐え、数々の実績を積み重ねてきました。

歴史と伝統を誇る学校が登米高校です。これまでの皆様の努力により今年で創立百年を迎えます。大きな節目の年の入学生のみならず、自信と誇りを胸に高校生活を送ってください。

本校は「誠実」「勤勉」「進取」の校訓のもと、「文武両道」の精神で、知育・徳育・体育の調和のとれた豊かな人間を育む教育を展開しております。また、生徒の自主性・主体性を重んじ、一人ひとりの個性を伸ばしながら、将来に渡って活躍できる土台「高い志」と「意思決定力」を備え、地域を支える人材の育成に取り組んできています。

皆さんも、誠実に学び、勤勉な活動、進取の気概を持って取り組むという、本校の校風に慣れ、先輩が築き上げた伝統の継承者になると同時に、社会の状況の変化に的確に対応した変革を行う、新たな伝統の創造者として、充実した高校生活を過ごされることを期待します。

Society 5.0という言葉があります。日本が提唱する未来社会のコンセプトです。技術の発達により今後社会の在り方が劇的に変化すると言われています。求められる人材像、学びの在り方もこれまでとは大きく異なります。「超スマート社会」の到来に向けて学校教育は、これまで以上に「人間としての強み」はどこにあるか。この本質的問いに答える教育が求められています。

今大きな期待と一方で少しの不安を胸にこの入学式に臨んでいる新入生の皆さん、人生で一度きりの高校時代を充実したものとするために、「人間としての強み」が何か。高校生活を通して見つけてください。

その際に心に留めておいていただきたい言葉があります。それは「自分の可能性を信じる」ということです。「自分の伸びる力を誰よりも自分が信じる」ということです。粘り強く努力する気持ちはそこから生まれ、すべてのスタートはその気持ちを持つことから始まります。自分の可能性を信じ、目標に向かって粘り強く努力することが「人間としての強み」にきつとつながることでしょう。

この学校での学習と部活動を通して実り豊かな高校生活になることを期待します。

現在新型コロナウイルスの感染拡大が世界的な不安となつていきます。このような状況下であるからこそ正確な情報の見極めと適切な対応が求められます。どうか入学生生の方皆さんも感染拡大防止に努め自身と周囲の健康保全に努めてください。一番大切なことは「命を守る」ことです。自他の命を守る行動をとることをお願いしたいと思います。

新入生の皆さんが今日の喜びを忘れず、心身ともに健康で、安心安全に有意義な高校生活を送ることを、心より祈念し、式辞といたします。

令和二年四月八日

宮城県登米高等学校長 佐々木真由美

2・3年生も異例のスタート

着任式・始業式は1日遅れで実施

入学生との同時登校を避けて、始業式は1日遅れの4月9日(木)に実施されました。放送による簡易の着任式と始業式でしたが、自宅待機の生活を強いられていた生徒たちにとっては、つかの間でも同級生と会うことができ、笑顔にあふれていました。春休み中は部活動が禁止となり校舎も静まりかえっていましたが、この日は久々に生徒たちの元気な挨拶が飛び交い、活気のある一日となりました。

登米高校へようこそ!

新年度、登米高に着任された8名の先生方です! (敬称略)

職名	氏名	前任校	担当教科
校長	佐々木 真由美	迫支援学校	
教諭	佐藤 和也	登米総合産業高校	英語
養護教諭	武田 遥加	迫支援学校	
講師	白鳥 善也	登米高校(非常勤)	国語
講師	佐藤 史弥	新規採用	数学
事務室長	大村 享	県庁危機対策課	
連携コーディネーター	小笠原 友二	塩釜高校	
スクールカウンセラー	及川 美香	登米総合産業高校	

お世話になりました 修業式・離任式を同日実施

3月25日(水)に放送により令和元年度の修業式が実施されました。鈴木秀利校長からは式辞として、無形の力としての「知恵」、人生でできるかどうかより何をしたいのかというチャレンジする心である「勇気」、そして良好な人間関係を築くための魔法の力がある「笑顔」、この3つを大切にしてもらいたいとお話がありました。

修業式後に続けて離任式も行われ、お世話になった先生方との別れを惜しましました。

3月に登米高を転退出された先生方 (敬称略)

職名	氏名	転任先	担当教科
校長	鈴木 秀利	県教育庁スポーツ健康課	
教諭	佐藤 啓太	宮城広瀬高校	英語
養護教諭	熊谷 樹梨	金成支援学校	
講師	道家 智之	退職	数学
事務室長	高橋 秀一	石巻好文館高校	
非常勤講師	杉山 操	退職	英語
非常勤講師	佐藤 拓摩	気仙沼市立松岩中学校	体育
連携コーディネーター	中川 義二郎	退職	
スクールカウンセラー	滝川 雅啓	小・中学校へ	

行事の中止・延期が相次ぐ

新型コロナウイルスの影響で PTA総会も中止

新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に3月から実施してきた臨時休業により、行事も相次いで中止・延期を余儀なくされています。準備期間も必要なため、4月の時点ですでに6月までの多くの行事が中止や延期が決定しています。例年は保護者の皆様の

8割近い出席をいただいていたPTA総会も中止となっています。

臨時休業が明けても通常の再開には時間がかかることが予想されており、さらに影響が大きくなることも懸念されています。登米高校としては、生徒たちの健康と安全を最優先に考えながら、行事の組み替えを行って参ります。



昨年のPTA総会の様子

中止が決定している主な行事

4月25日(土) PTA総会

4月28日(火) PTA総会報告会

5月9日(土)～10日(日) 支部総体 (※)

5月16日(土) 進路を考える日① (※)

(※) 学校再開の場合は、土曜日は週休日とし、月曜日の振休はなし

6月27日(土)～28日(日) 支部総文祭

臨時休業中もしっかり学習しよう

課題は登米高校のホームページに掲載

臨時休業明けにスムーズに学校再開後ができるように、登米高校では学習課題をホームページ上に掲載しています。1～2週間を目処に更新していますので、登米高生諸君はしっかり取り組んでください。

なお、課題も含めて最新の情報はメールでお知らせしていますので、生徒・保護者でまだメールが未登録の方はぜひ登録するようにお願いします。登録方法がよく分からない方は、学校までご連絡ください。

登米高トピックス

4月17日(金) ケサランパサラン(?)

本校の学校評議員である伊達宗弘氏が来校され、幸せのおすそわけとしてケサランパサラン(注)を寄贈していただきました。数年前に風に乗って飛んできたものを栽培し、昨年になってようやく立派な実をつけたとのこと。

新型コロナウイルスのため暗い話題が多い中、その美しい「妖精の姿」を見て職員室も暫しほっこりとした気持ちになりました。

学校再開後に生徒たちにも見てもらうために、図書館にしばらく飾ることにしました。



(注) ケサランパサランには諸説あります。